

栗東市
在宅介護実態調査
【結果報告書】

令和5年3月

栗東市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査期間と調査方法	1
3. 調査対象及び回収率	1
4. 報告書の見方	1
II 調査結果	2
A 回答者の基本属性	2
<性別>	2
<年代>	2
<居住地区>	3
<要介護認定>	4
B ご本人について（回答者の家族等について）	5
<世帯類型>	5
<家族からの介護>	6
<介護者の属性>	7
<介護者の行っている介護内容>	9
<介護者の介護離職>	10
<介護保険サービスの利用状況等>	11
<介護保険サービス以外のサービス利用状況等>	13
<施設等への入所・入居希望>	15
<疾病等の状況>	16
<介護を受ける場所の希望>	20
<主観的幸福感>	21
C 主な介護者について	22
<介護者の状況>	22
<介護者の就労状況と介護>	24
<介護者が不安に感じる介護>	30
<在宅介護を継続していくために必要なサービス>	32
<福祉団体や福祉サービス等について>	33

I 調査概要

1. 調査の目的

高齢者の方々の日常生活や健康、保健福祉に関するご意見などをお聞きし、健康で安心して暮らすことができるまちづくりのさらなる推進に向け、第9期栗東市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、実施しました。

2. 調査期間と調査方法

・調査期間

令和4年12月6日～令和4年12月26日締切（令和5年1月まで回収）

・調査方法

郵送による配布・回収

3. 調査対象及び回収率

市内に居住する要介護1～5に該当するすべての在宅生活の方

配布数（A）	有効回収数（B）	回収率（B/A）
1,193	646	54.1%

4. 報告書の見方

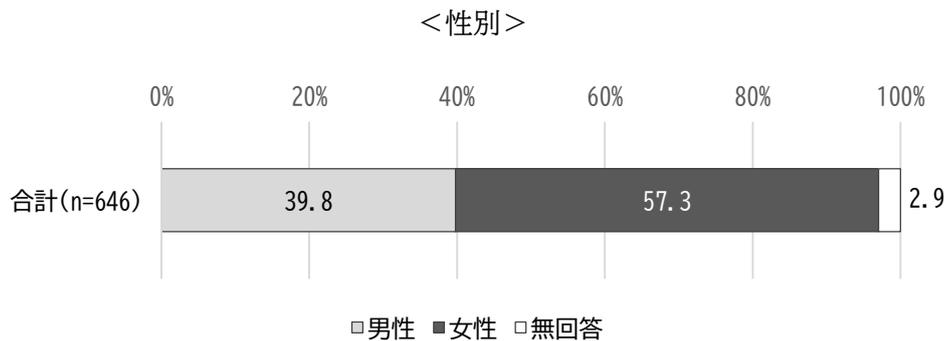
- 集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しているため、比率（％）の合計が100%にならないことがあります。
- 図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢の文言を短縮している場合があります。
- 階層集計の比率（％）は、すべて各階層の該当対象者数を100%として算出しています。
- 回答比率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出しました。2つ以上の回答を求める設問では、比率（％）の合計は100%を超えています。
- グラフのn数（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

Ⅱ 調査結果

A 回答者の基本属性

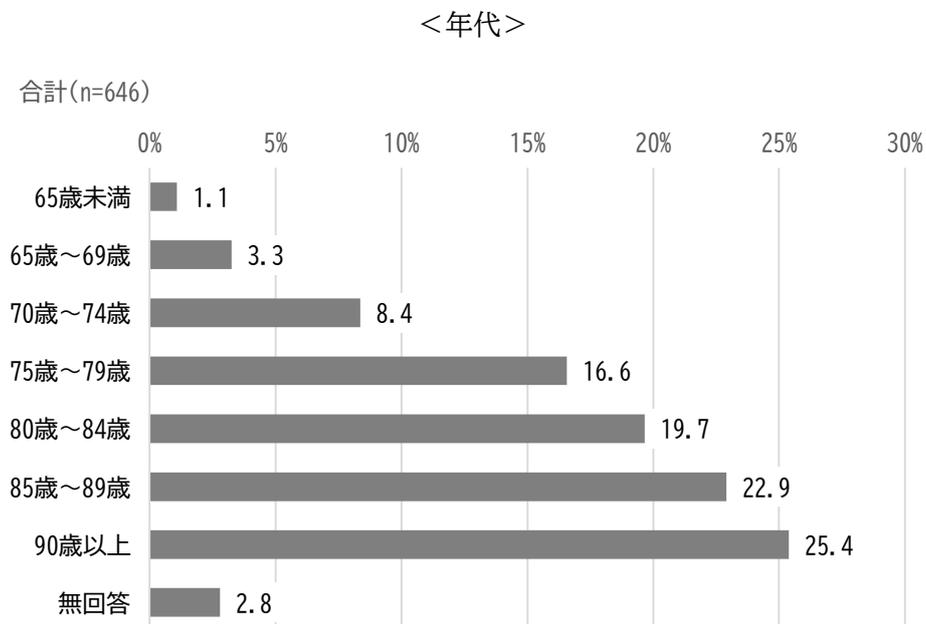
<性別>

男性は39.8%、女性は57.3%となっています。



<年代>

性別は60代が4.4%、70代が25.0%、80代が42.6%、90歳以上は25.4%となっています。



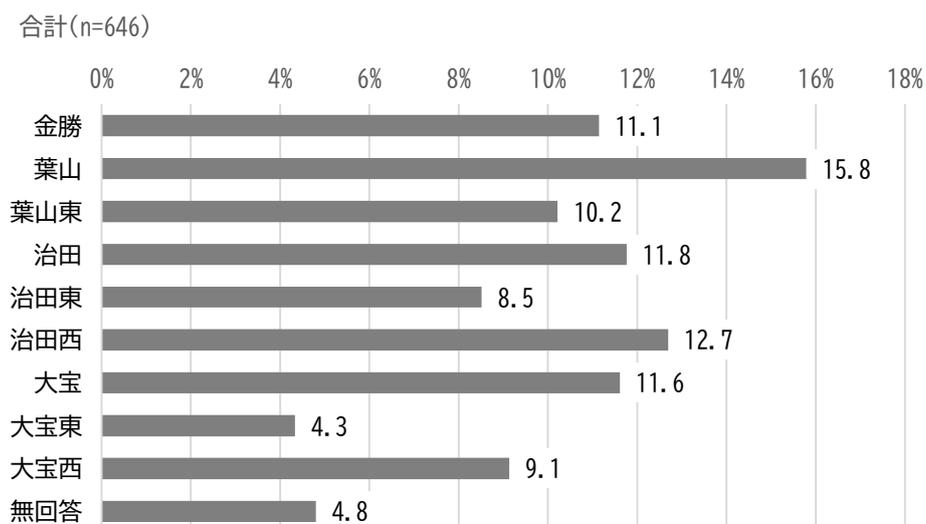
<居住地区>

回答者の居住地区（小学校区）については、以下の通りとなっています。

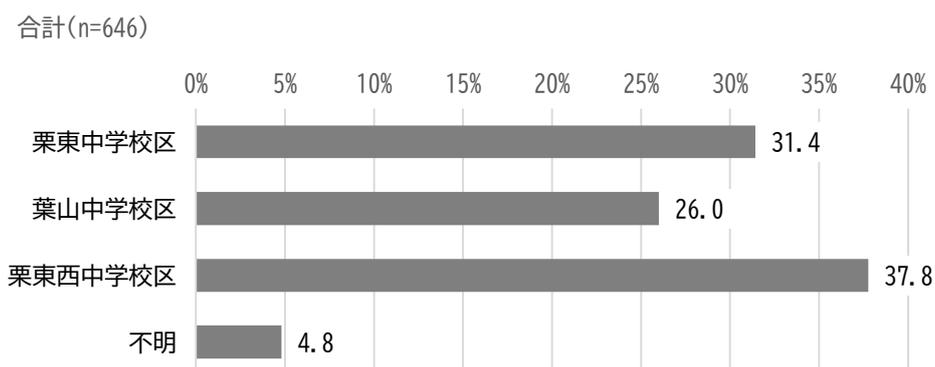
また、居住地区について中学校区（日常生活圏域）ごとにもみると、以下の通りとなっています。

なお、本調査報告書で「圏域」とあるのは、この中学校区（日常生活圏域）を表しています。

<居住地区（小学校区）>



<居住地区（中学校区 = 日常生活圏域）>

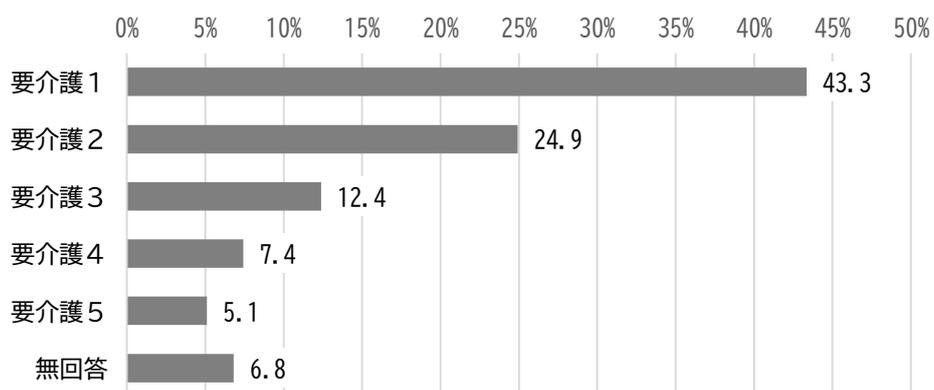


<要介護認定>

要介護度別にみると、「要介護1」が43.3%、「要介護2」が24.9%、「要介護3」が12.4%、「要介護4」が7.4%、要介護5が5.1%となっています。

<要介護認定>

合計(n=646)



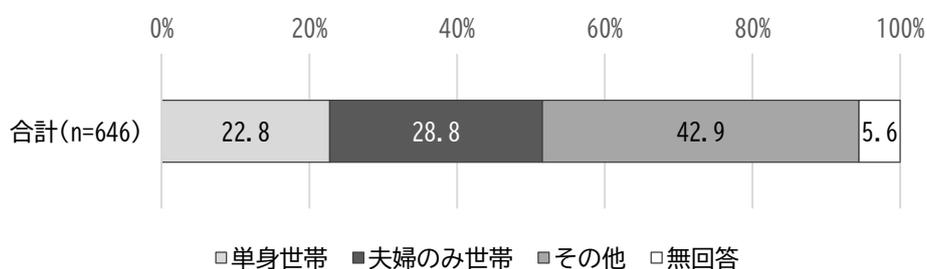
B ご本人について（回答者の家族等について）

<世帯類型>

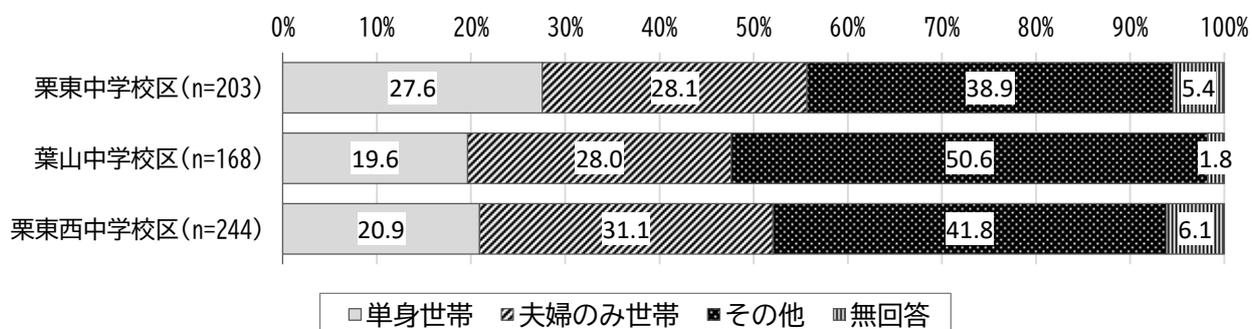
（1）世帯類型を教えてください（1つだけ○）

世帯類型は「単身世帯」が22.8%、「夫婦のみ世帯」が28.8%、「その他」が42.9%となっています。
また圏域別にみると、「栗東中学校区」で「単身世帯」の割合が高く、「葉山中学校区」で「その他」の割合が高くなっています。

<世帯類型>



<世帯類型 【圏域別】>



<家族からの介護>

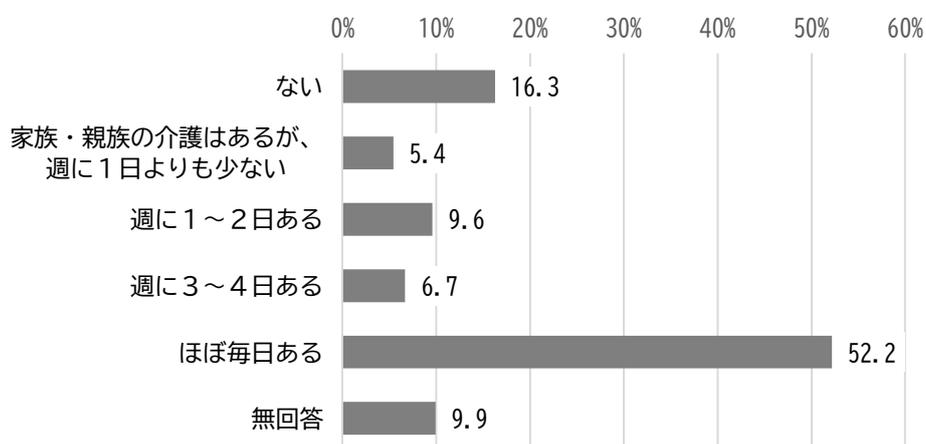
(2) ご家族やご親族の方からのご本人の介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つだけ○)

家族や親族からの介護については、「ない」が16.3%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が5.4%、「週に1～2日ある」が9.6%、「週に3～4日ある」が6.7%、「ほぼ毎日ある」が52.2%、となっています。

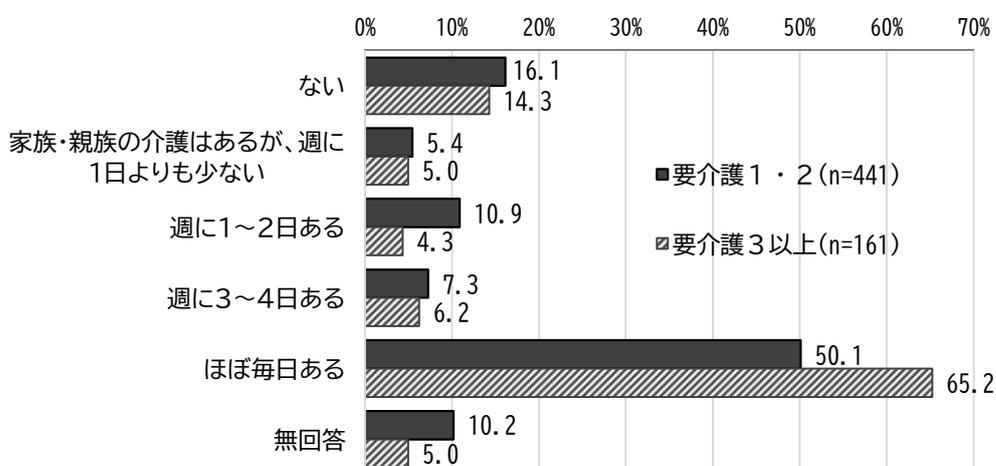
また要介護度別にみると、「要介護1・2」よりも「要介護3以上」では「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。

<家族からの介護>

合計(n=646)



<家族からの介護 【要介護度別】>



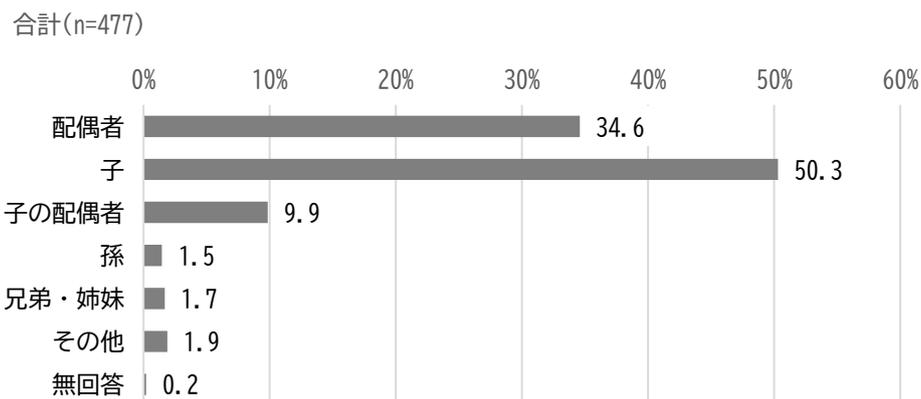
<介護者の属性>

【介護が必要な方のみ】

(3) 主な介護者の方は、どなたですか。ご本人からみた続柄でお答えください（1つだけ○）

主な介護者は、「子」が最も高く 50.3%、次いで「配偶者」34.6%、「子の配偶者」9.9%と続きます。

<主な介護者との関係>

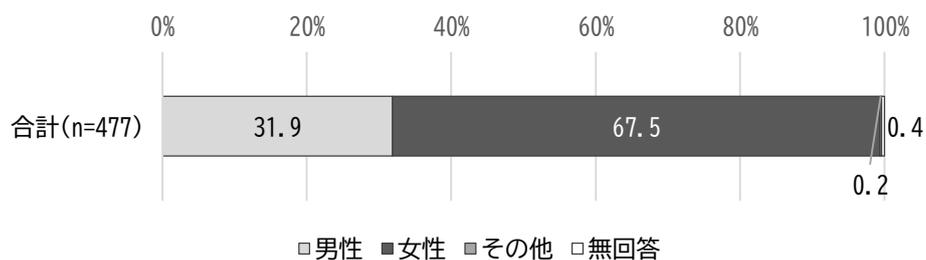


【介護が必要な方のみ】

(4) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つだけ○）

主な介護者の性別は、「男性」31.9%、「女性」67.5%、「その他」0.2%となっています。

<主な介護者の性別>



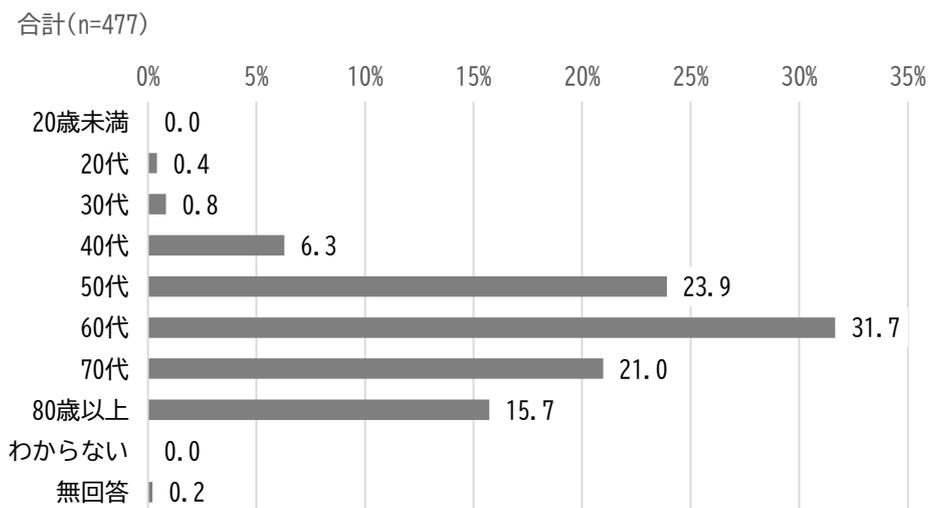
【介護が必要な方のみ】

(5) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つだけ○）

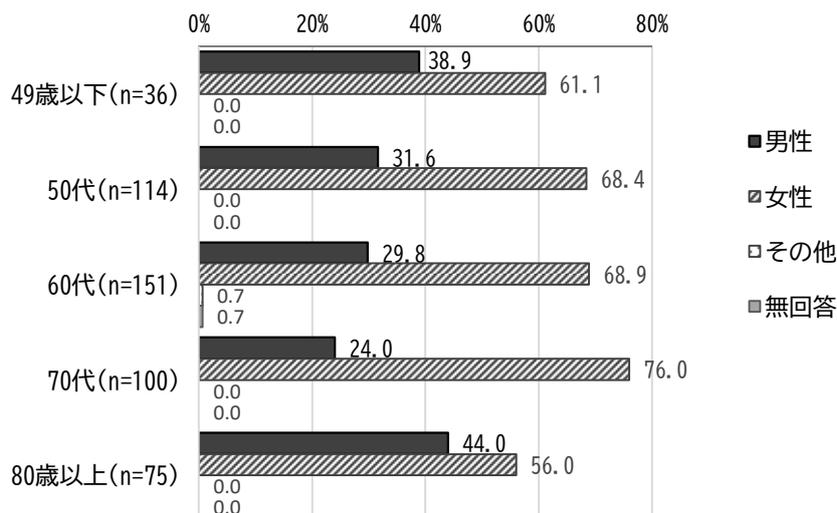
主な介護者は「60代」が最も高く 31.7%、次いで「50代」23.9%、「70代」21.0%、「80歳以上」15.7%と続きます。

また、主な介護者の年代別にその性別をみると、どの年代でも女性の割合が高く、「70代」までは年代が高くなるにつれて男女の差が大きくなりますが、80歳以上になると、性別の差が小さくなります。

<主な介護者の年代>



<主な介護者の年代 【性別】>



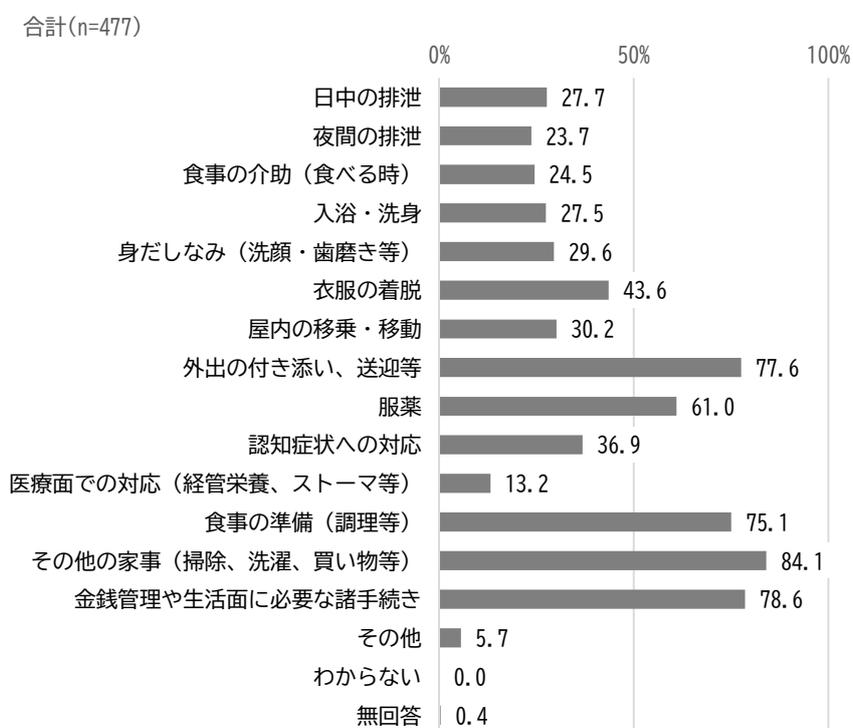
<介護者の行っている介護内容>

【介護が必要な方のみ】

(6) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるものすべてに○）

主な介護者が行っている介護等については「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が84.1%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」78.6%、「外出の付き添い、送迎等」77.6%、「食事の準備（調理等）」75.1%と続きます。

<介護者の行っている介護内容>



<介護者の介護離職>

【介護が必要な方のみ】

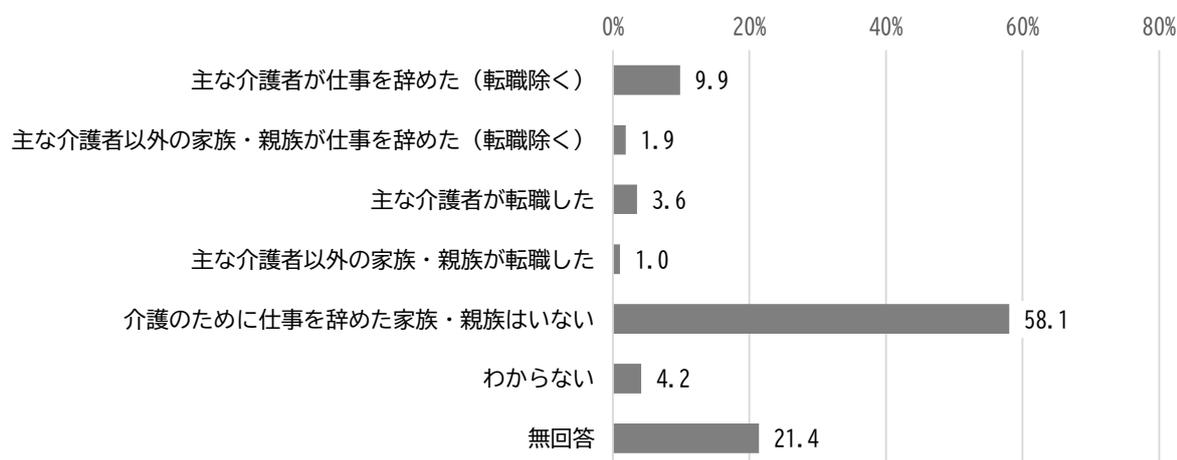
(7) ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）

家族や親族の中で、介護離職をした人がいるかどうかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が58.1%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」9.9%、「主な介護者が転職した」3.6%と続きます。一方「わからない」は4.2%となっています。

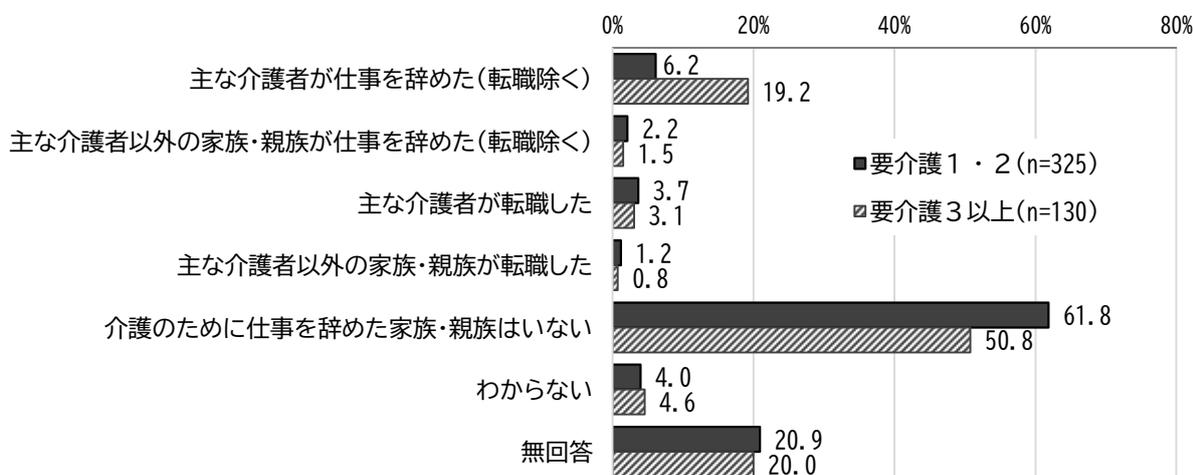
また要介護度別にみると、「要介護3以上」では、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高く、「要支援1・2」では「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっています。

<介護者の介護離職>

合計(n=477)



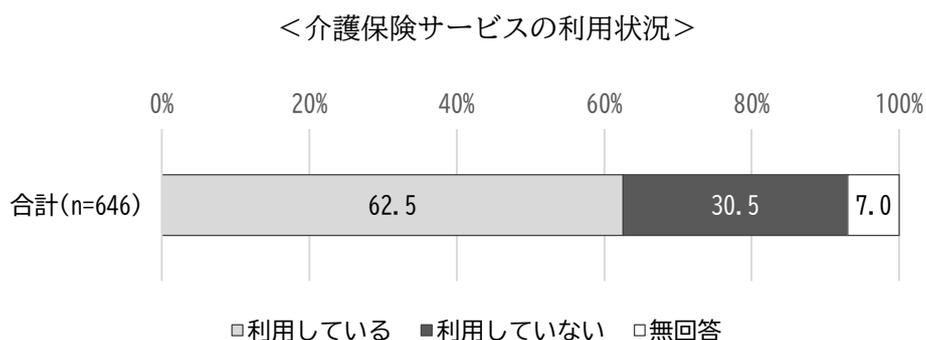
<介護者の介護離職 【要介護度別】>



<介護保険サービスの利用状況等>

(8) 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか(1つだけ○)

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が62.5%、「利用していない」30.5%となっています。

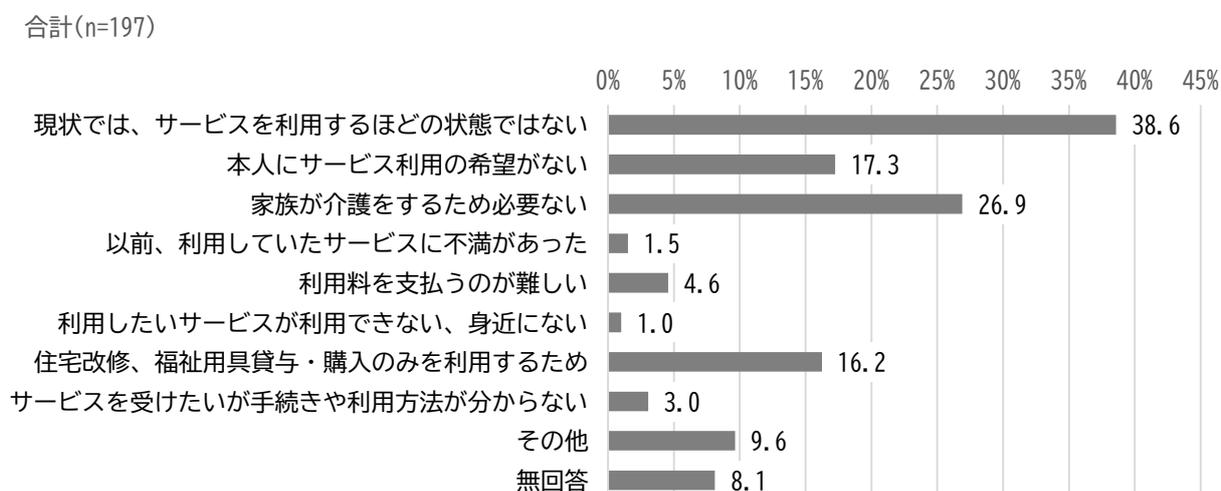


【(8) で介護保険サービスを利用していない方のみ】

(8) ①介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

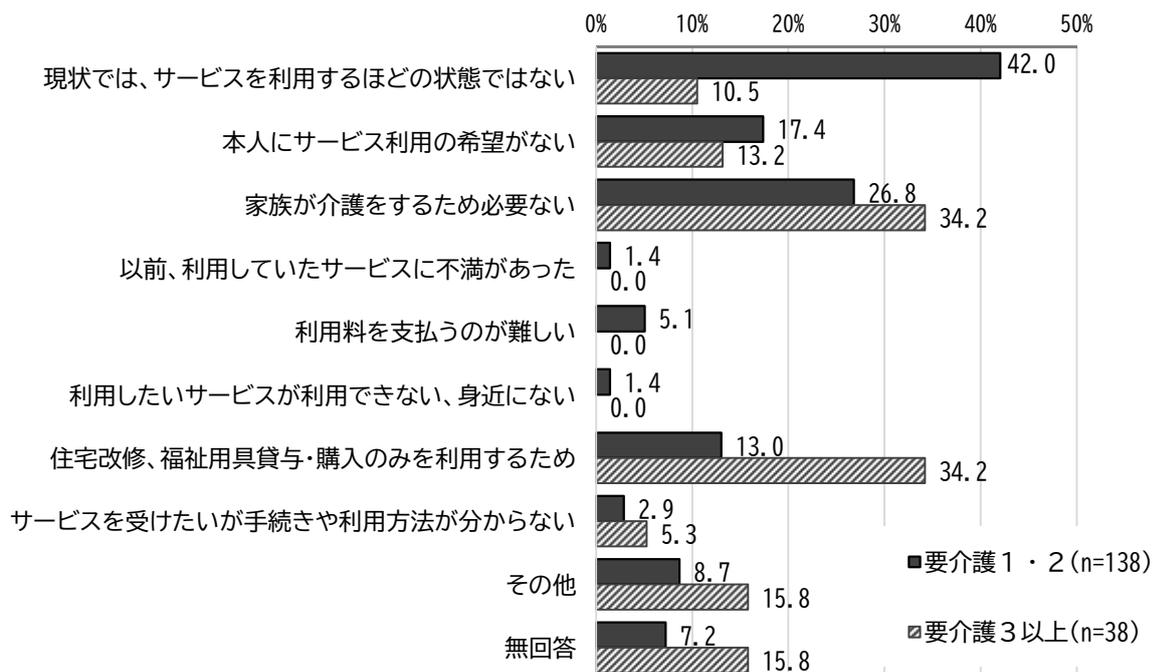
介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が38.6%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」26.9%、「本人にサービス利用の希望がない」17.3%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」16.2%と続きます。

<介護保険サービスを利用していない理由>



介護保険サービスを利用していない理由を要介護度別で見ると、「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が非常に高くなっています。「要支援3以上」では、住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」の割合が非常に高くなっています。

<介護保険サービスを利用していない理由 【要介護度別】>



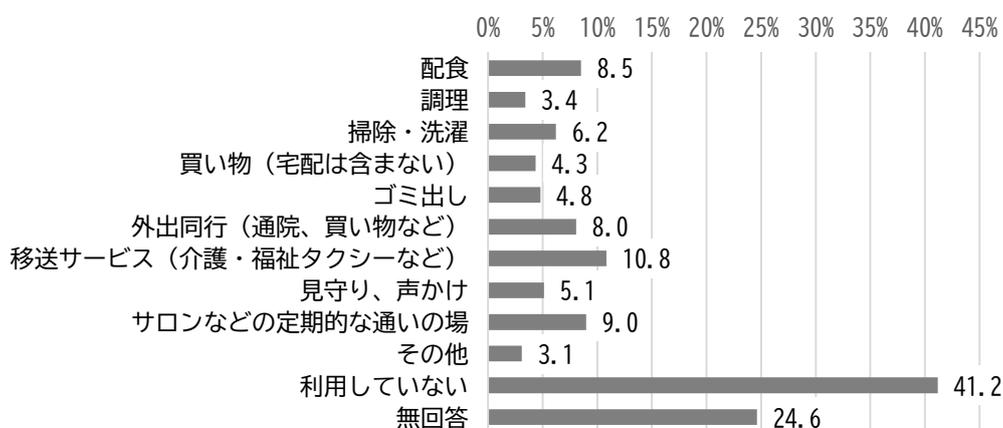
<介護保険サービス以外のサービス利用状況等>

(9) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（あてはまるものすべてに○）

介護保険サービス以外で利用しているサービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が最も高く 10.8%、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」で 9.0%、「配食」 8.5%、「外出同行（通院、買い物など）」 8.0%と続きます。一方で「利用していない」は 41.2%となっています。

<介護保険サービス以外で利用しているサービス>

合計(n=646)

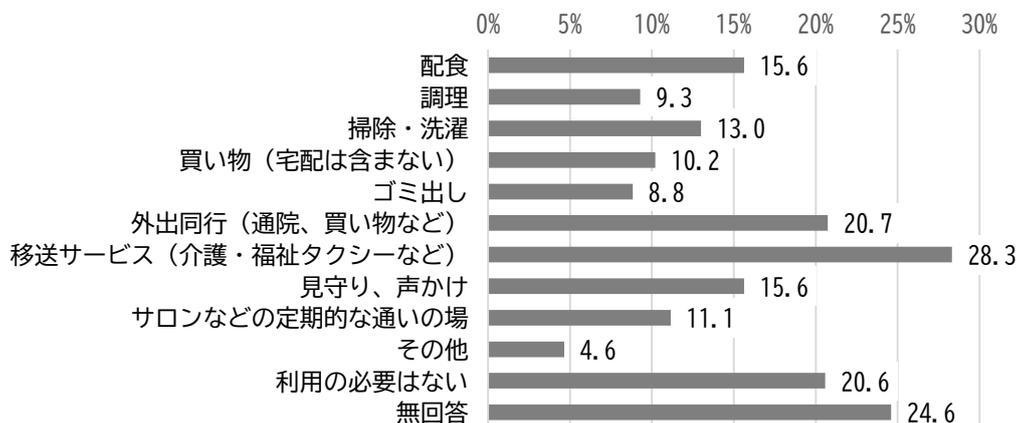


(10) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（あてはまるものすべてに○）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が 28.3%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」 20.7%、「配食」「見守り、声かけ」が 15.6%と続きます。一方で「利用の必要はない」は 20.6%となっています。

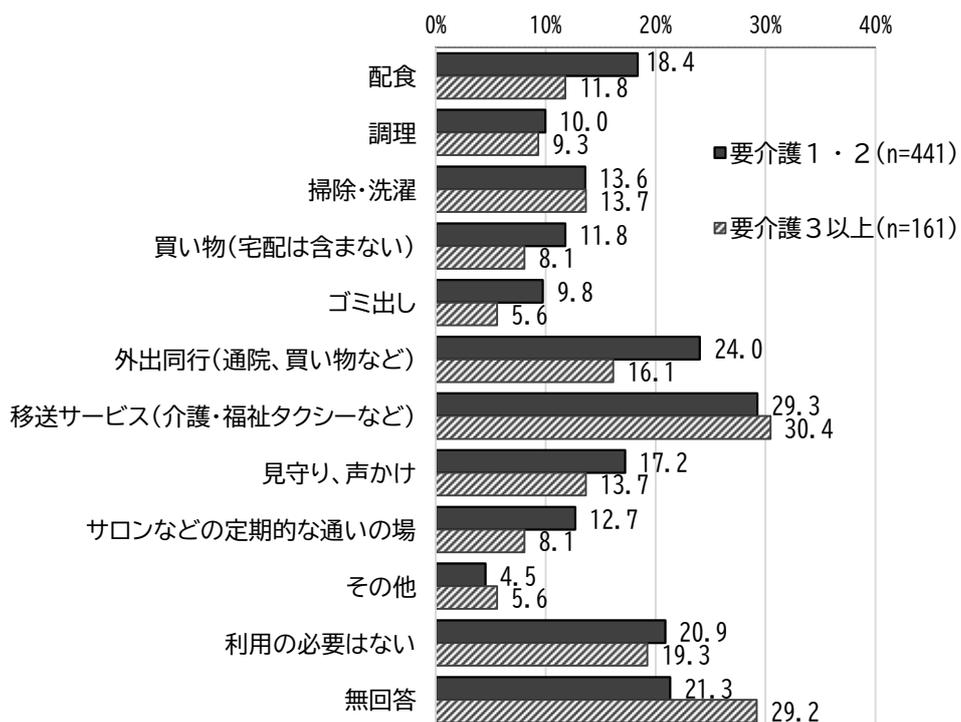
<今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス>

合計(n=646)



今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて要介護度別にみると、「外出同行（通院、買い物など）」は「要介護1・2」の割合が高くなっています。

<今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 【要介護度別】>

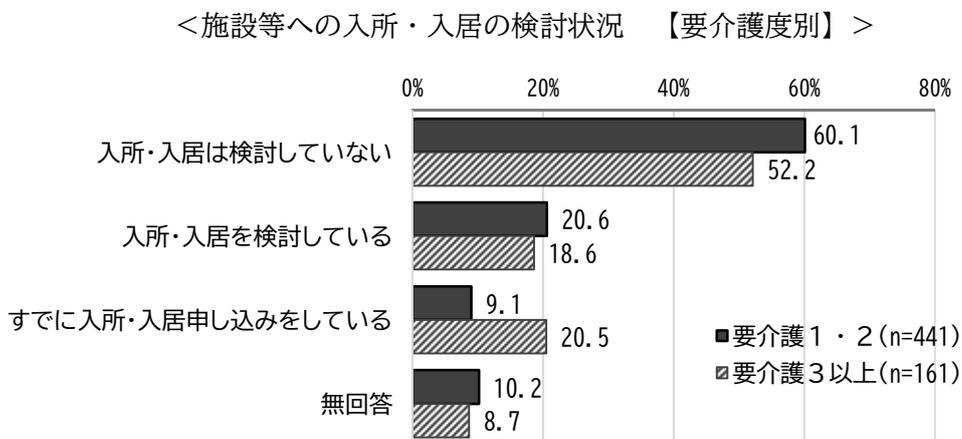
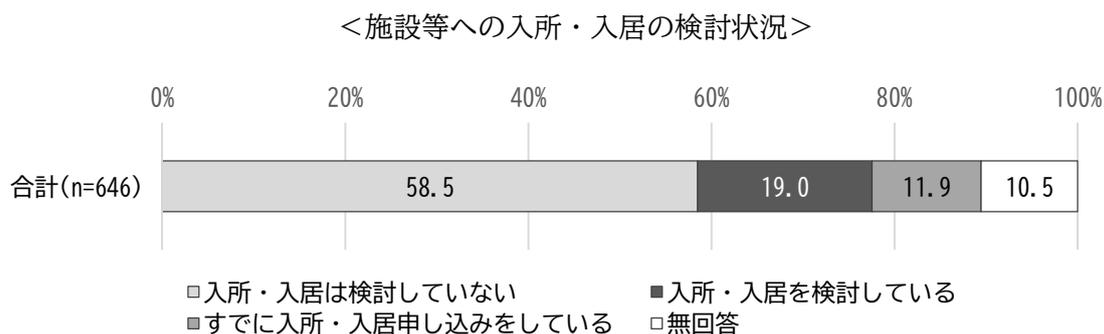


<施設等への入所・入居希望>

(11) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つだけ○）

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」58.5%、「入所・入居を検討している」19.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」11.9%となっています。

また要介護度別にみると、「要介護3以上」で「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。

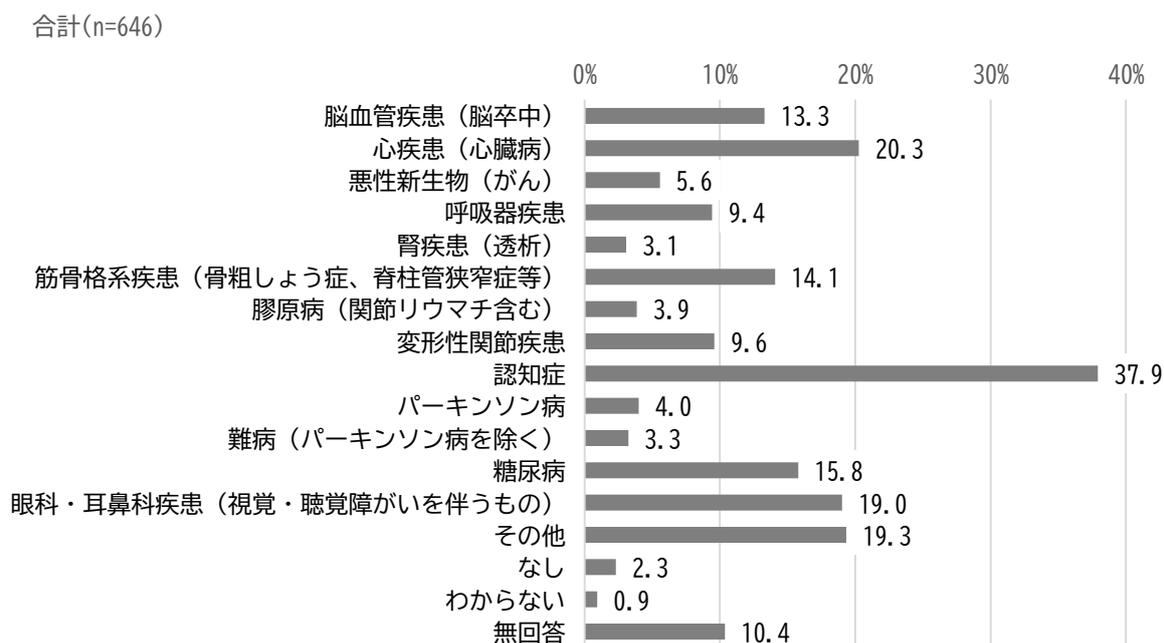


<疾病等の状況>

(12) 現在ご本人が抱えている傷病について、ご回答ください（あてはまるものすべてに○）

現在の本人の疾病等の状況については、「認知症」が 37.9%と最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」20.3%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」19.0%、「糖尿病」15.8%と続きます。

<疾病等の状況>

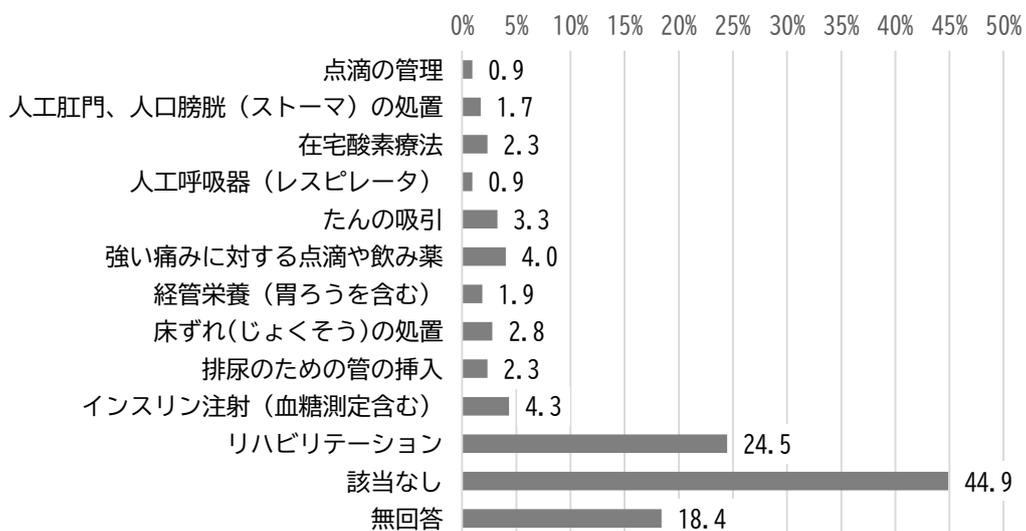


(13) 現在ご本人が、家族からや介護保険サービスで受けている医療的ケアは何ですか（あてはまるものすべてに○）

家族からや介護保険サービスで受けている医療的ケアの内容については、「リハビリテーション」が24.5%と最も高く、次いで「インスリン注射（血糖測定含む）」4.3%、「強い痛みに対する点滴や飲み薬」4.0%、「たんの吸引」3.3%と続きます。一方で、「該当なし」は44.9%となっています。

<医療的ケアの内容>

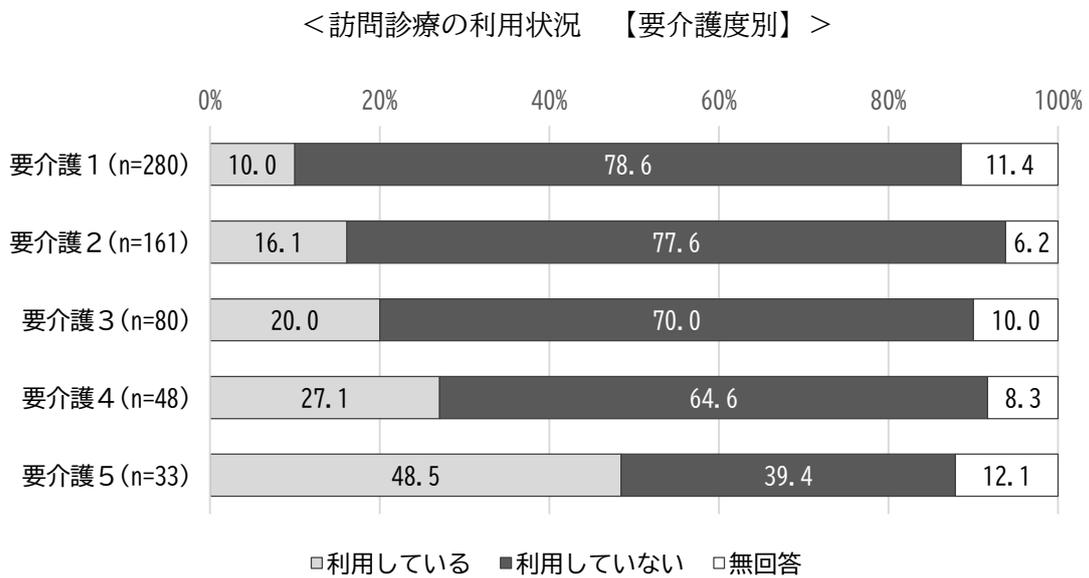
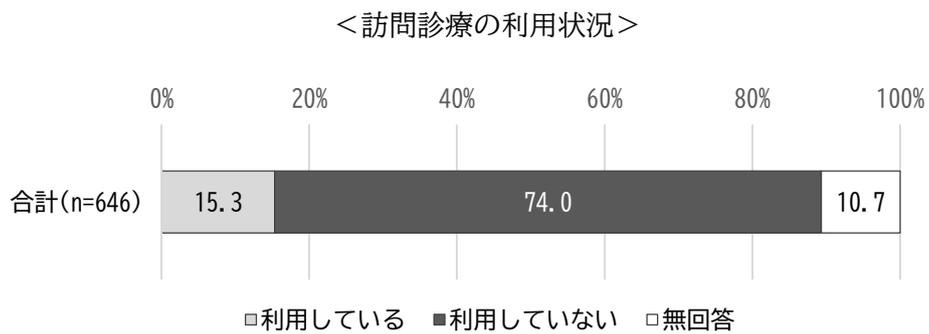
合計(n=646)



(14) 現在ご本人は、訪問診療を利用していますか（1つだけ○）

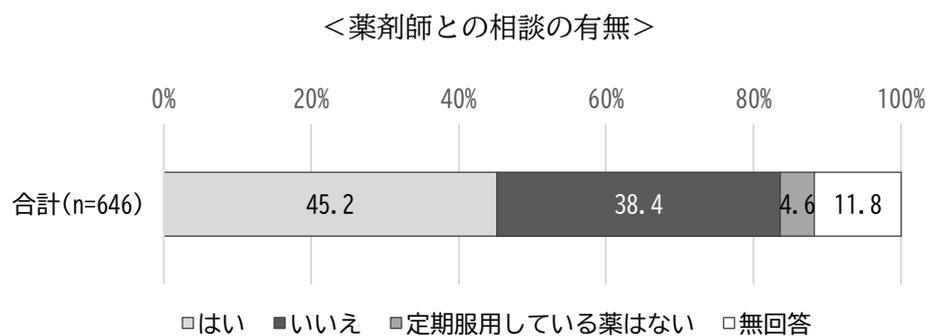
訪問診療を利用しているかについては、「利用している」は15.3%、「利用していない」74.0%となっています。

また要介護度別にみると、要介護度が上がるほど、訪問診療を「利用している」割合は高くなっています。



(15) 定期服薬中の薬について、年に1回程度は薬剤師に副作用や飲み合わせについて相談していますか。(1つだけ○)

定期服薬中の薬について、年に1回程度薬剤師に相談しているかについては、「はい」が45.2%、「いいえ」が38.4%となっています。



<介護を受ける場所の希望>

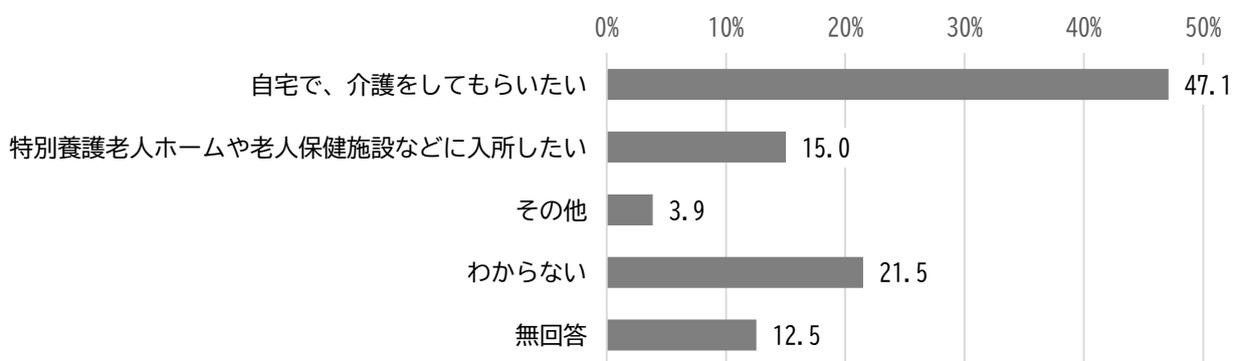
(16) 今後、ご本人はどこで介護を受けたいと思っておられますか（1つだけ○）

今後、どこで介護を受けたいかについては、「自宅で、介護をしてもらいたい」が47.1%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所したい」が15.0%となっています。

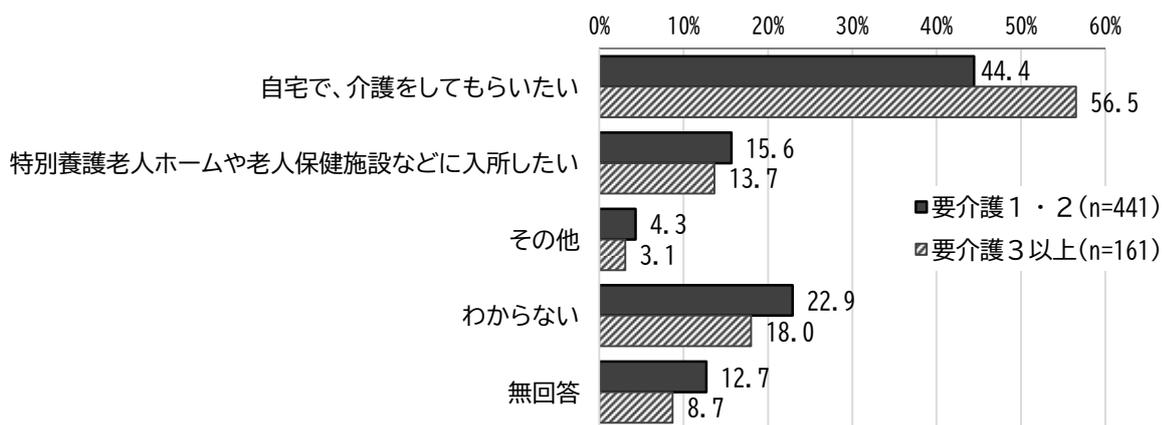
また要介護度別にみると、「要介護3以上」では「自宅で、介護をしてもらいたい」の割合が高くなっています。

<介護を受ける場所の希望>

合計(n=646)



<介護を受ける場所の希望 【要介護度別】>



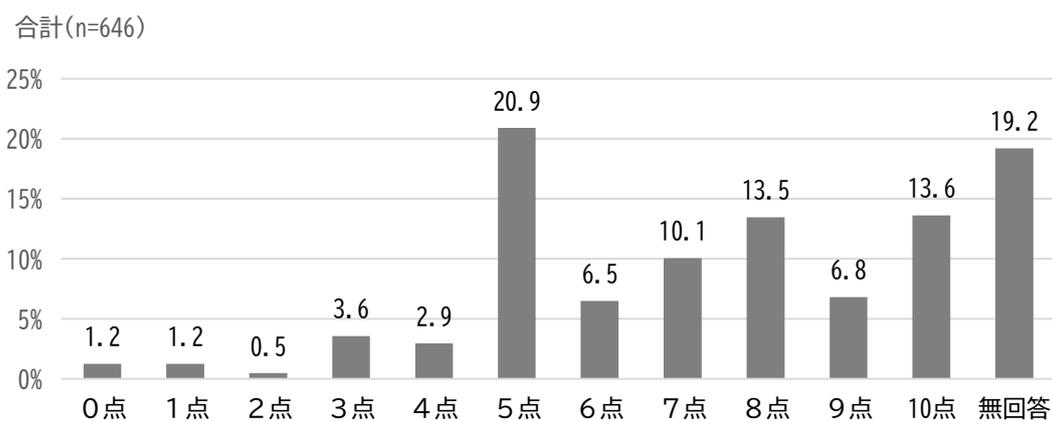
<主観的幸福感>

(17) 現在ご本人は、どの程度幸せですか（1つだけ○）

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

主観的な幸福感については、「5点」が20.9%と最も高く、次いで「10点」13.6%、「8点」13.5%と続きます。

<主観的幸福感>



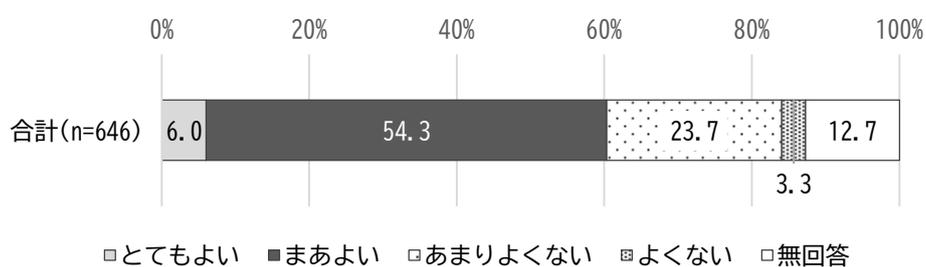
C 主な介護者について

<介護者の状況>

(1) 主な介護者の方の健康状態はいかがですか（1つだけ○）

介護者の健康状態については、「とてもよい」「まあよい」を合計すると60.3%、「あまりよくない」「よくない」を合計すると27.0%となっています。

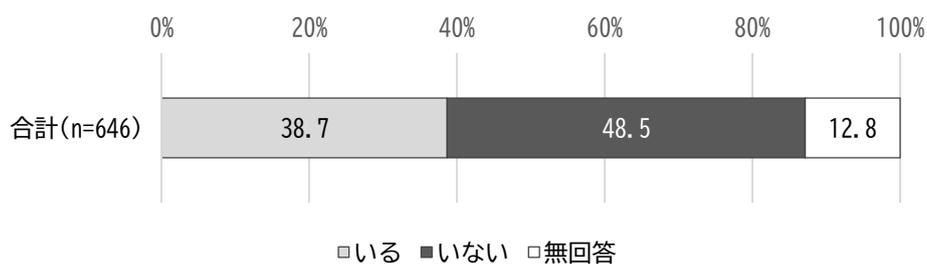
<介護者の健康状態>



(2) 主な介護者の方以外に、介護者がいますか（1つだけ○）

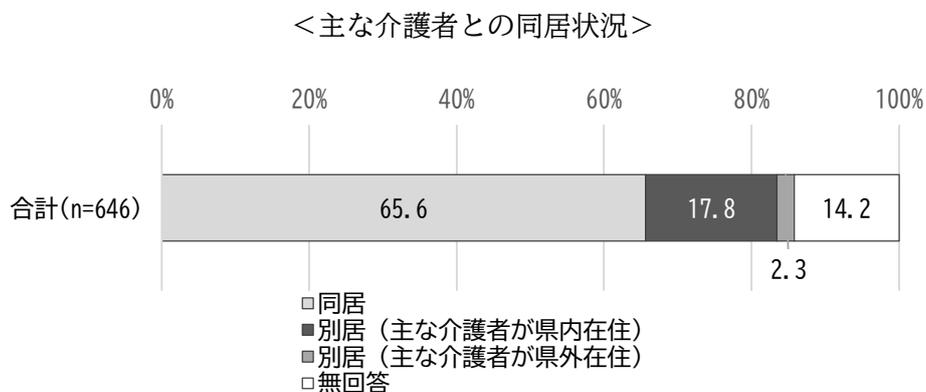
主な介護者以外に介護者がいるかについては、「いる」が38.7%、「いない」が48.5%となっています。

<主な介護者以外の介護者の有無>



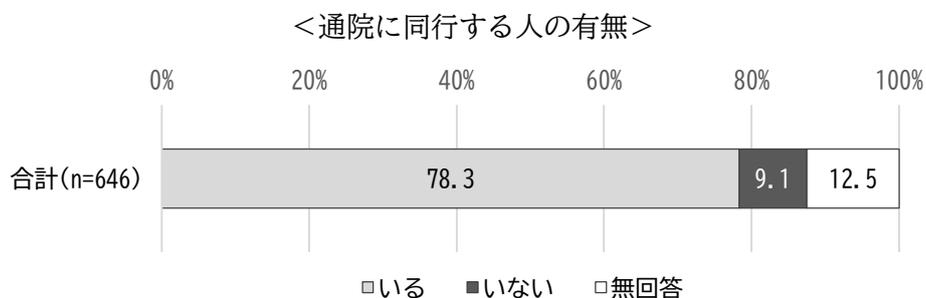
(3) 主な介護者の方とご本人の同居状況を、ご回答ください(1つだけ○)

主な介護者と「同居」は65.6%、「別居(主な介護者が県内在住)」は17.8%、「別居(主な介護者が県外在住)」は2.3%となっています。



(4) ご本人の通院に、いつも同行する方がいますか(1つだけ○)

通院に同行する人がいるかについては、「いる」が78.3%、「いない」が9.1%となっています。

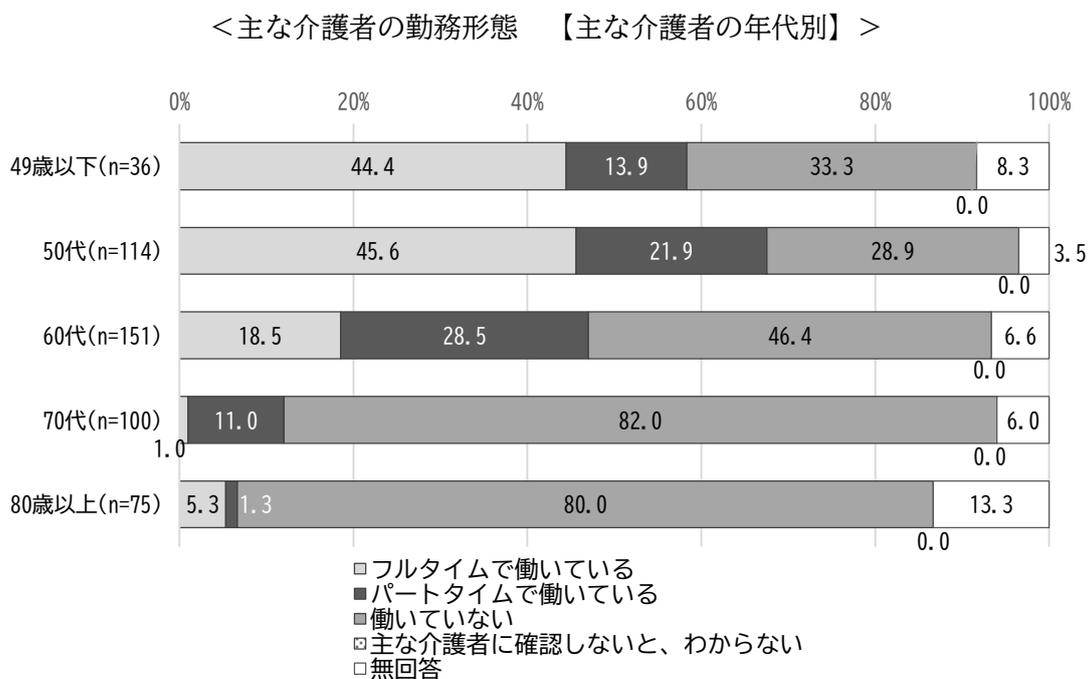
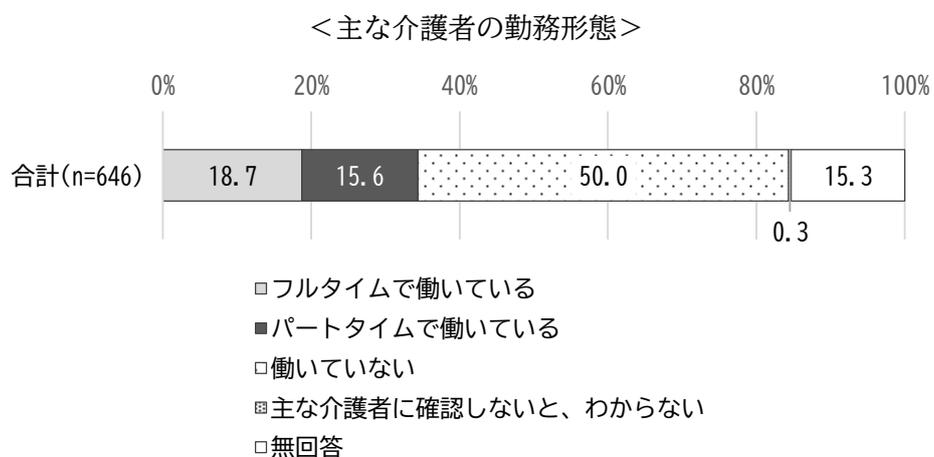


<介護者の就労状況と介護>

(5) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つだけ○）

主な介護者の勤務形態は「フルタイムで働いている」が18.7%、「パートタイムで働いている」15.6%となっています。「働いていない」は、5割となっています。

主な介護者の年代別に主な介護者の勤務形態をみると、50代までは「フルタイム」で働いている割合が4割半程度と高くなっていますが、70代以上では「働いていない」の割合が約8割と高くなっています。

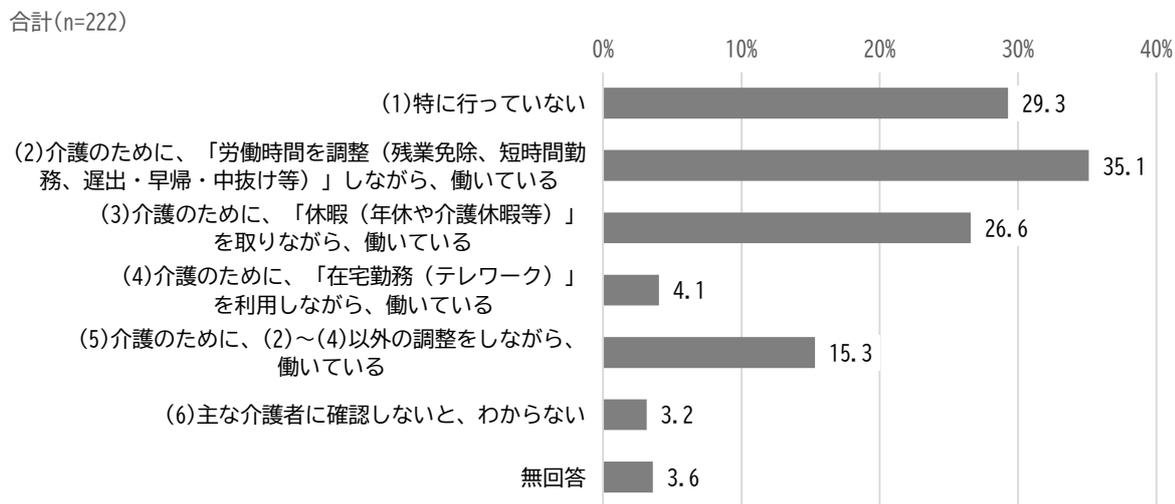


【(5)で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」と回答した方のみ】
 (5) ①主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
 (あてはまるものすべてに○)

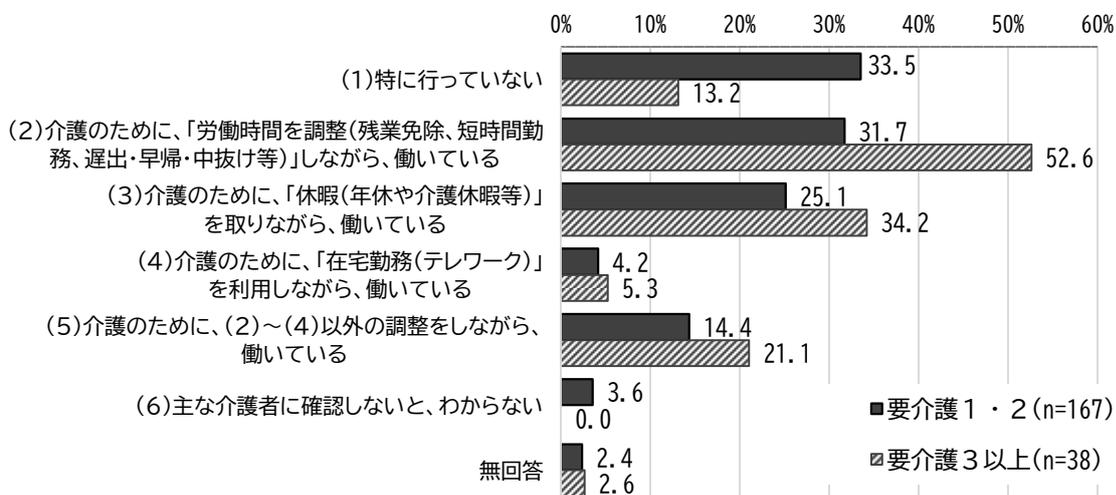
主な介護者が介護をする際の働き方調整については、「(2)介護のために、『労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)』しながら、働いている」が35.1%と最も高く、次いで「(3)介護のために、『休暇(年休や介護休暇等)』を取りながら、働いている」で26.6%、「(5)介護のために、(2)～(4)以外の調整をしながら、働いている」が15.3%となっています。一方、「(1)特に行っていない」は3割弱となっています。

また、要介護認定別に見ると、「要介護3以上」で、「(2)介護のために、『労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)』しながら、働いている」の割合が高くなっています。

<主な介護者が介護をする際の働き方調整>

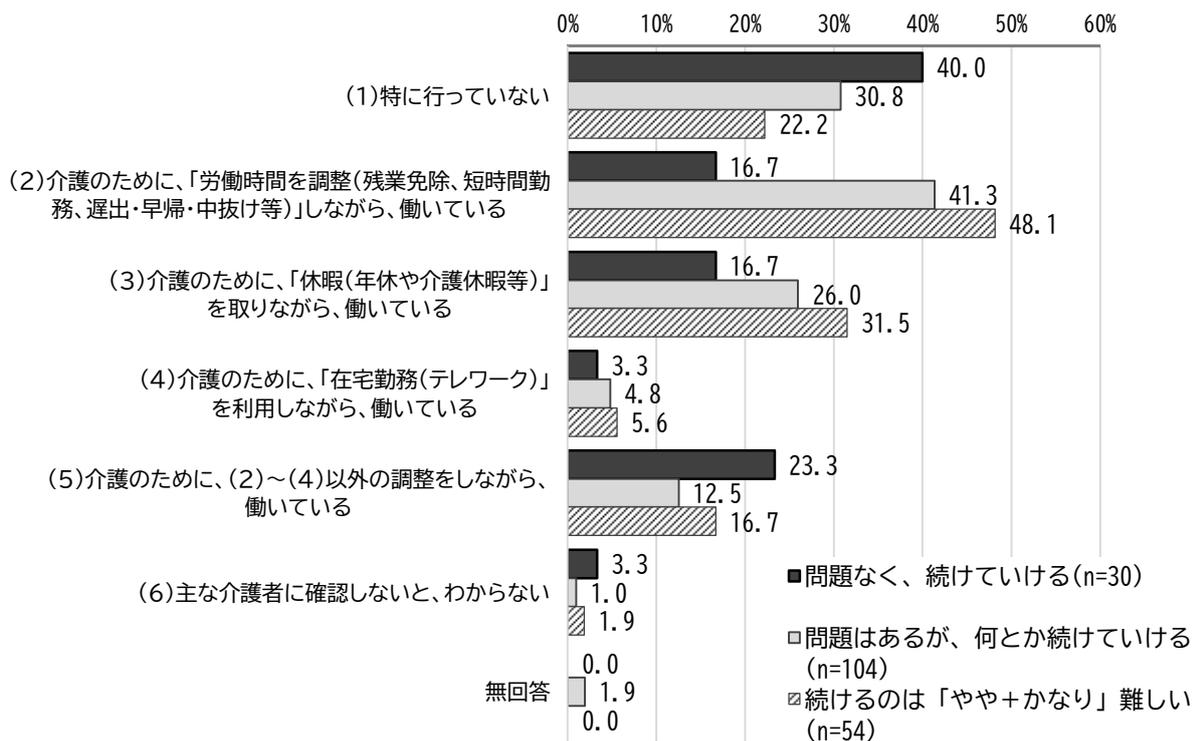


<主な介護者が介護をする際の働き方調整【要介護度別】>



さらに、主な介護者が介護をする際の働き方調整について就労継続の見込み別にみると、「(就労を)続けるのは『やや+かなり』難しい」では「(2)介護のために、『労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)』しながら、働いている」や、「(3)介護のために、『休暇(年休や介護休暇等)』を取りながら、働いている」の割合が高くなっています。

<主な介護者が介護をする際の働き方調整 【就労継続の見込み別】>



【(5)で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」と回答した方のみ】

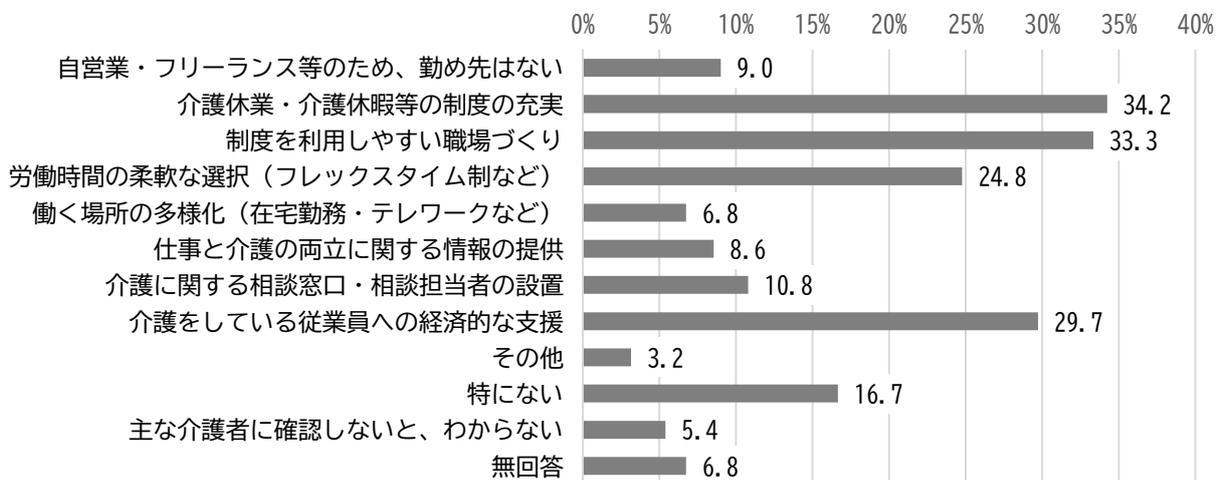
(5)②主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで○)

主な介護者が、仕事と介護の両立のために勤め先に求める支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く34.2%、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」33.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」29.7%と続いています。一方、「特にない」は16.7%となっています。

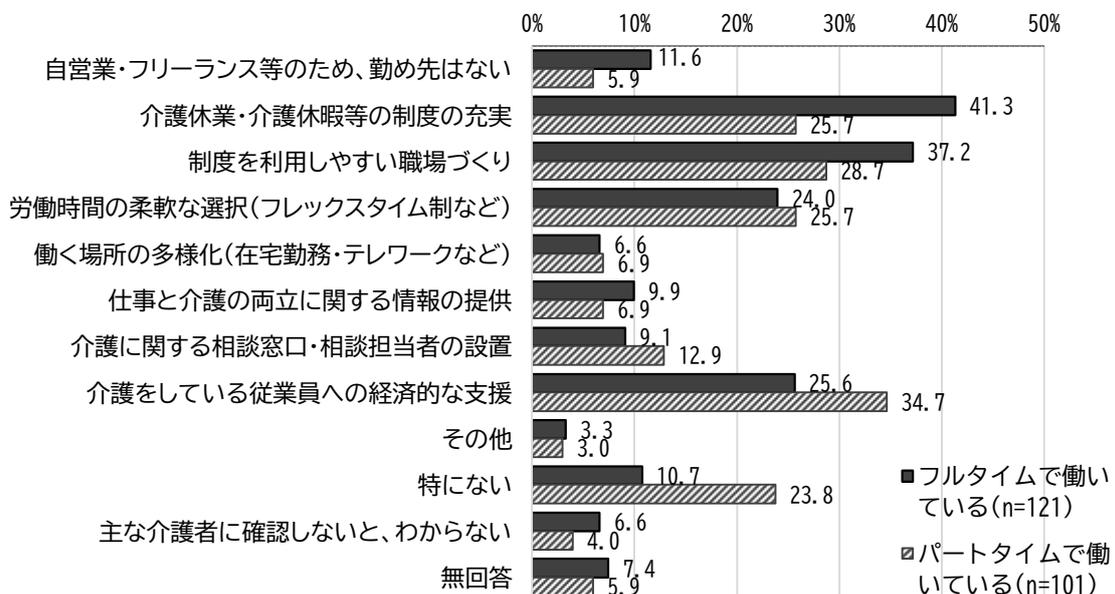
また主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイムで働いている」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が高く、「パートタイムで働いている」では「介護をしている従業員への経済的な支援」がやや高くなっています。

<主な介護者が、仕事と介護の両立のために勤め先に求める支援>

合計(n=222)



<主な介護者が、仕事と介護の両立のために勤め先に求める支援【勤務形態別】>



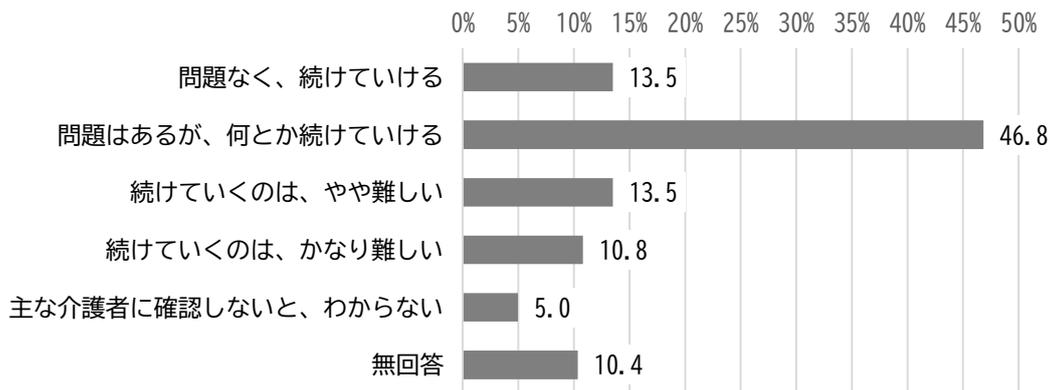
【(5)で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」と回答した方のみ】
 (5)③主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つだけ○)

主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く46.8%、次いで「問題なく、続けていける」と「続けていくのは、やや難しい」が13.5%、「続けていくのは、かなり難しい」は10.8%となっています。「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせると、24.3%が働きながらの介護は難しいと感じています。

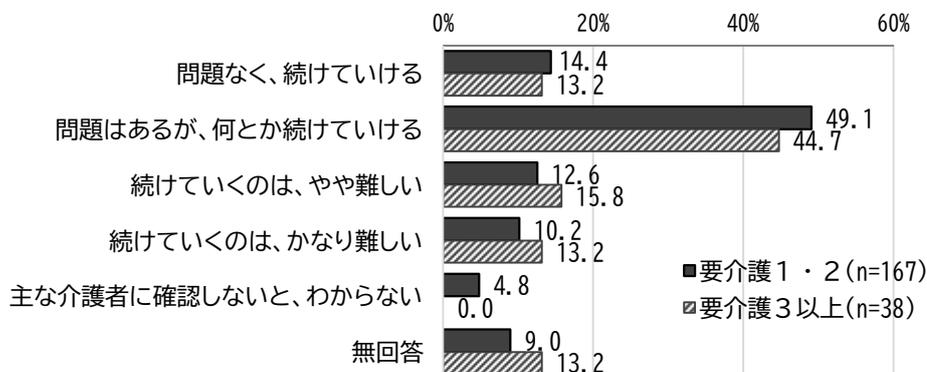
また、要介護度別にみると大きな差はみられない一方、圏域別では大きな差は出ていないものの「続けていくのは、かなり難しい」では「栗東中学校区」の割合がやや高くなっています。勤務形態別でも、大きな差ではないものの、全体的な傾向として「フルタイムで働いている」では就労を続けていけるという割合がやや高く、「パートタイムで働いている」では就労を続けるのは難しいという割合が高い傾向にあります。

<就労継続の見込み>

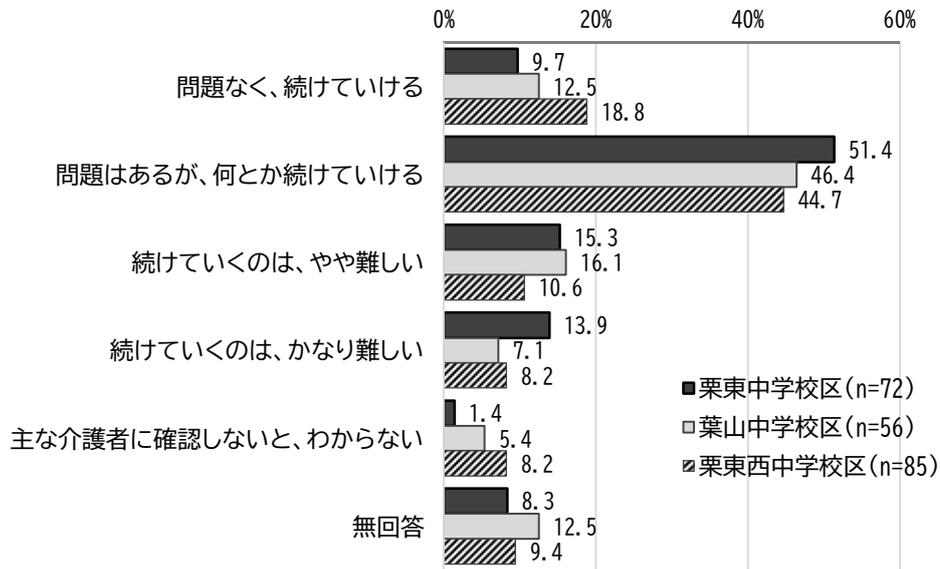
合計(n=222)



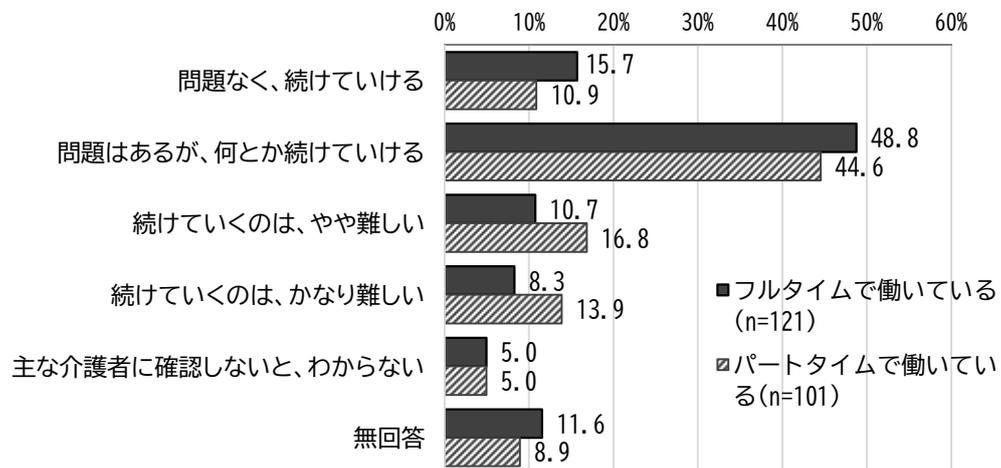
<就労継続の見込み【要介護度別】>



<就労継続の見込み【圏域別】>



<就労継続の見込み【勤務形態別】>

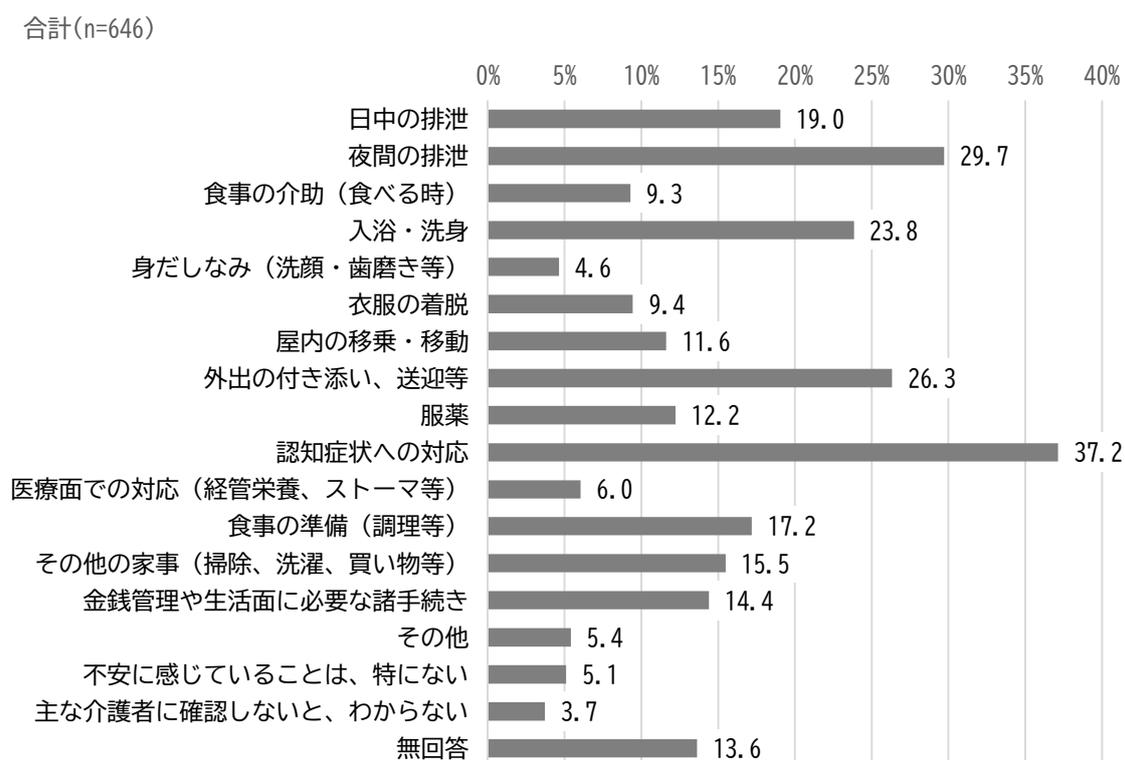


<介護者が不安に感じる介護>

(6) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで○）

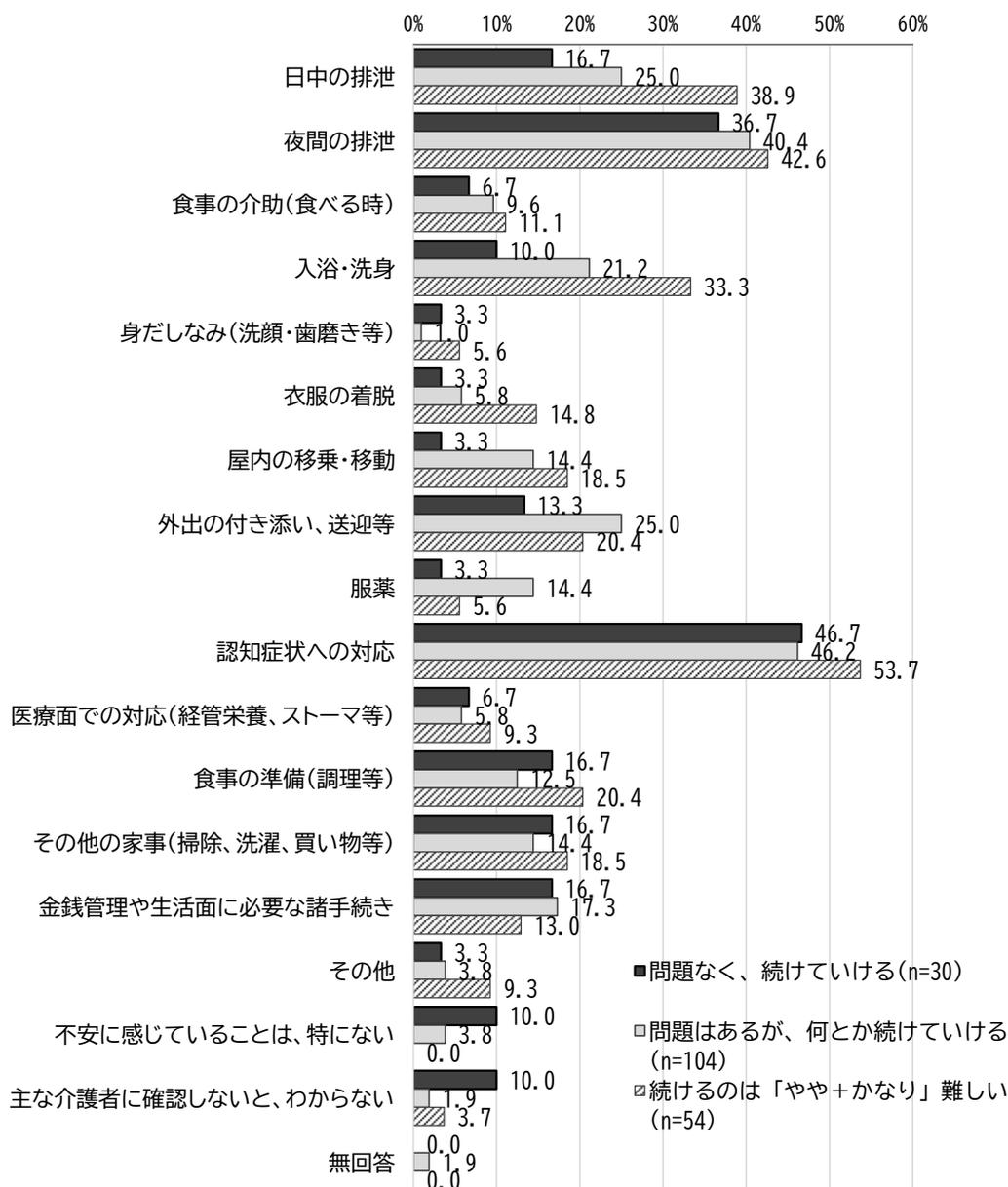
主な介護者が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が最も高く 37.2%、次いで「夜間の排泄」29.7%、「外出の付き添い、送迎等」26.3%、「入浴・洗身」23.8%と続きます。一方で、「不安に感じていることは特にない」は 5.1%となっています。

<介護者が不安に感じる介護>



主な介護者が不安を感じる介護等について就労継続の見込み別にみると、「(就労を) 続けるのは『やや+かなり』難しい」では、「日中の排泄」や「入浴・洗身」の割合が特に高くなっています。

<介護者が不安を感じる介護 【就労継続の見込み別】 >



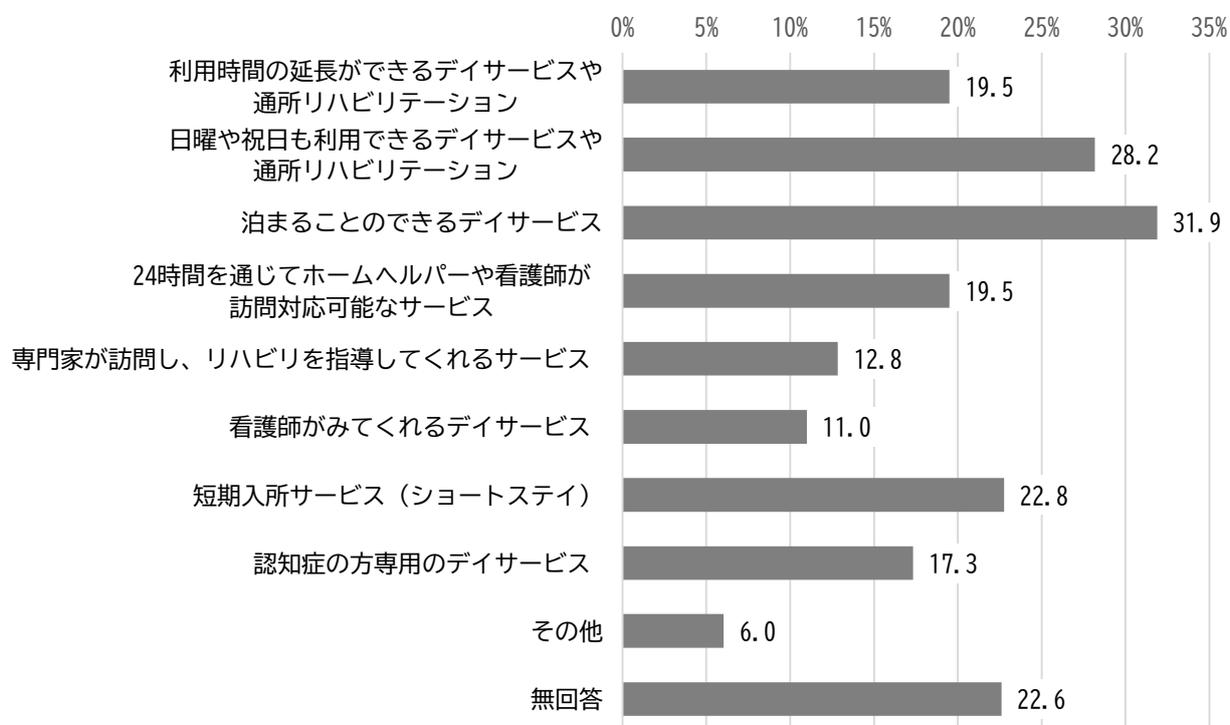
<在宅介護を継続していくために必要なサービス>

(7) 在宅介護を継続していくためには、現在利用の介護サービス以外にどのようなサービスを充実させることが必要と考えますか（3つまで○）

在宅介護を継続していくために必要なサービスについては、「泊まることのできるデイサービス」が最も高く 31.9%、次いで「日曜や祝日も利用できるデイサービスや通所リハビリテーション」28.2%、「短期入所サービス（ショートステイ）」22.8%と続きます。

<在宅介護を継続していくために必要なサービス>

合計(n=646)

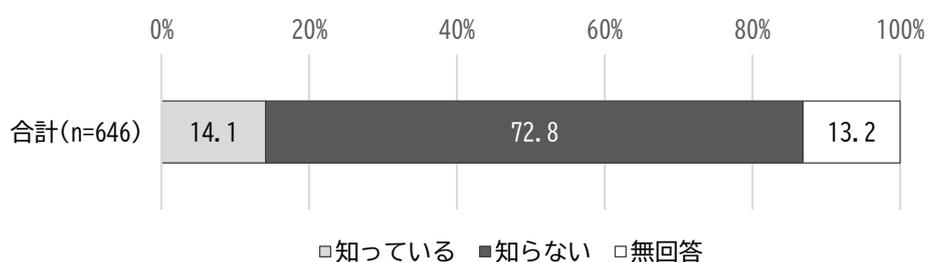


<福祉団体や福祉サービス等について>

(8) ねたきりや認知症の方を介護している人が、互いに交流を図る中で介護の孤独感や不安感などの問題を解決するために活動している「介護者の会」や「認知症の人と家族の会」を知っていますか（1つだけ○）

「介護者の会」や「認知症の人と家族の会」を知っているかについては、「知っている」は14.1%、「知らない」は72.8%となっています。

<「介護者の会」や「認知症の人と家族の会」の認知>

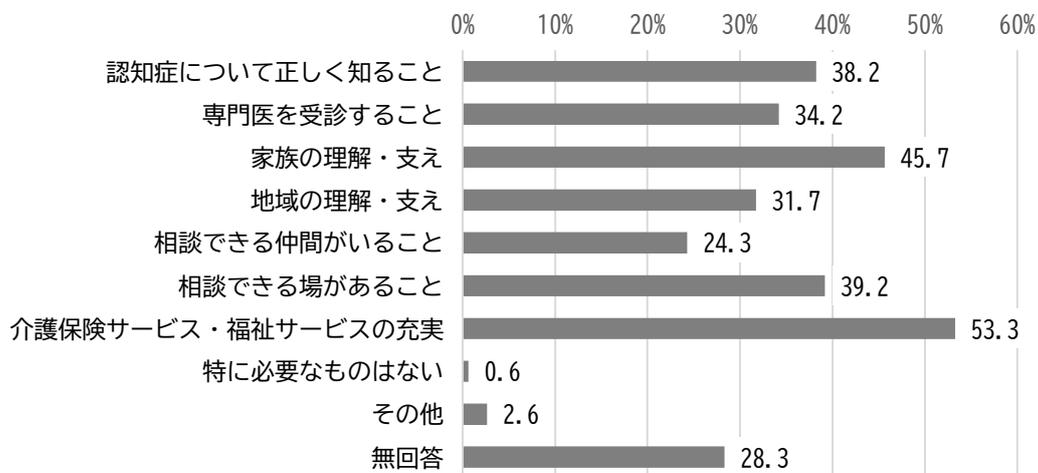


(9) 自分自身や家族が認知症になっても、住みなれた地域で暮らしていくためには、何が必要であると思いますか（あてはまるものすべてに○）

認知症になっても、住みなれた地域で暮らしていくために何が必要かについては、「介護保険サービス・福祉サービスの充実」が53.3%と最も高く、次いで「家族の理解・支え」が45.7%、「相談できる場があること」39.2%、「認知症について正しく知ること」38.2%と続きます。一方で、「特に必要なものはない」は、わずかに0.6%となっています。

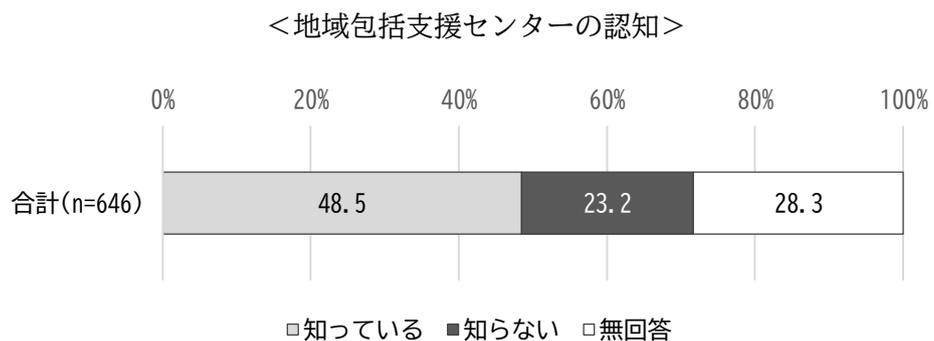
<認知症になっても住みなれた地域で暮らしていくために何が必要か>

合計(n=646)



(10) 地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢のみなさんを介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的に支えるため、市内に3カ所設けられています。あなたは、地域包括支援センターを知っていますか（1つだけ○）

地域包括支援センターを知っているかについては、「知っている」が48.5%、「知らない」が23.2%となっています。



栗東市
在宅介護実態調査
【結果報告書】

発行 : 栗東市 健康福祉部 長寿福祉課
住所 : 〒520-3088
滋賀県栗東市安養寺一丁目 13 番 33 号
電話 077-551-0198
発行年月 : 令和5年3月
